

「東北魂」を鼓舞する 電子新聞

発行所 株式会社遊無有
〒 207-0015 東京都東大和市中央 1-539-15
<https://tohoku-saiko.jp/>
e-mail:y.s.yumuyu@ozzio.jp

東北再興 Re-C reate , TOHOKU!

第155号

無料

毎月発行

発行 2025 年（令和 7 年）4 月 16 日 水曜日

【當新聞發行責任者兼編集長兼記者紹介】

【砂越 豊】

宮城県生まれ、71歳の新人歴史映像作家兼プロデューサー。3作目の「古代製鉄の埋像」の【奪上】映画は延期。乗け・歴史から大崎新作4部曲が発表される。研究するところを標榜。これまで中文化掘を闘文化発本えていたが、4作目は「中文化掘」を「文化掘」に改めた。



東北の海でいったい何が起きているのか？

サバも獲れない、磯焼けだらけで海藻もない
温暖化で魚種が変化しているだけではない！
では東北水産業生き残りにはどうすればいい？

東北の海で何か大きな変化が起きていく

とを国民は知らない。

三陸のあちこちの海
で「磯焼け」発生

三陸以外の東北、北海道沿岸部でも見られるという。

場した南の魚の調理方法
よく分からないので困つ

て、いる何か分からぬ大化が加わることになる。

けつこう多いと思う。

それらによれば、異常気象のせいかどうか不明だがこれまで三陸の海で獲れていたサバやサンマなどのたじみの魚の漁獲量が極端に減少しているのだ。
そのせいで、漁港近くにある巨大な倉庫はガラガラで、稼働日数も大きく減っているという。
そんなところに、最近の電気料金の値上げが襲いかかってきて、漁獲量減少率に電気料金上昇のダブルパンチで、商売が立ち行かないという嘆きの声である。
太平洋側でサバが獲れない
ついこの間まで、カルシウム豊富で骨折予防に良くDHAも豊富ということでおなじみの「サバ缶」が大人気だったがそこに使われている国産サバに大異変が起きていること

平洋のマサバやゴマサバ、いわゆる「サバ類」について、今年の漁獲枠を去年の三十五万トン余りからおよそ七割から八割削減する二つの案を示したほどの激減ぶりである。

水産庁によれば、特に「マサバ」の成長が鈍化しているほか、親魚の資源量が大きく減っていることが減少の一因だという。

いずれにしても、取りすぎを防ぎ、漁獲量の安定につなげるねらいだという。他方、日本海や東シナ海でのサバの漁獲枠については、来シーズン、いまと大きくは変えないということなので、太平洋側、すなわち、東北の三陸側の海に限つた削減ということになる。

貝類でも収穫しようとしたら、海に海藻が生えていないし、以前は獲れていた貝類の姿が見えない。代わりに、今まで見たことのない魚が泳いでいるとのこと。貝類や魚が獲れなくなつただけでなく、そのものが大変化しているというのだ。

これは「磯焼け」という現象だが、水産庁によれば「浅海の岩礁・転石域において、海藻の群落(藻場)が季節的消長や多少の経年変化の範囲を超えて著しく衰退または消失して貧殖生状態となる現象である。磯焼けが発生すると、藻場の回復に長い年月を要し、磯資源の減少や成長不良を招き、沿岸漁業に大きな影響を及ぼす。」ということだ。

また、この「磯焼け」は、三陸に限つての現象ではなく

こうした事態が発生していることは当然ながら国を知っているはずだし、国は水産業の将来にとつて重要な問題だということを知っているはずなのに、大調査をしたとか、するという話を耳にしたことはない。そしてマスメディアも「道しない。

だから、国民もこの大問題をよく知らない。せいぜいのところ、温度化によって南の魚が北上しているが、北では新しくさ

東北水産業の未来はない？

東北水産業には以前かいくつもの課題を抱えてることは当新聞で何度も掲してきた。

漁業従事者の高齢化
漁業従事者の低報酬
漁業従事者の減少
個人の漁業従事者が大
なで思い切った設備
資が困難など

こうした從来からの課
群に、いま東北の海に起

いる世界全体の漁業・養殖業の生産量は増え続けていたが、日本の生産量は増えるどころか減り続けており、前年比3%減の四百十一トンとなつてゐる。

そして、ついに統計が建てる一九五〇年以降で、初はてトツツ10から陥落し、何ど、世界の一番目に落ちたのだ。

もう漁業大国だなどとい込むのも、ましてや他国にそうした誤った思い込をベースに話すのも出来ない状況なのだ。

まことに残念な統計でござ

三陸の「金華サバ」が激変！
太平洋側のサバが激減している！
昨年の漁獲枠の35万トン余りから
一挙におよそ7割から8割削減する
いう話まで出ているほどの激減ぶり
もう「金華サバ」は食べられない？
海にいったい何が起きているのか？



金華サバ缶・・・木の屋石巻水産



磯焼け・・・水産庁より

度は積極的に北欧流漁業水産業を学ぶというのはどうだろうか?

るが、もし東北水産業を立て直すというならば、この厳然たる事実を受け容れることから始めなければならないだろう。

素直に漁業先進国に学ぼう!

思い起こせば、東日本大震災直後に、北欧から東北水産業の復興を支援する動きがあった。しかし、東北水産業は結果的にその申し出を断つた。これまでの東北水産業を守る決断を下した訳である。

あのとき、思い切って支援を受け容れ、北欧流の漁業、水産業に転換していたらと思うと残念でならない。しかし、過去の失敗を嘆き続けていても、気分が滅入る一方で、そして何も生まない。

震災直後に、北欧から東北水産業の復興を支援する動きがあった。しかし、東北水産業は結果的にその申し出を断つた。これまでの東北水産業を守る決断を下した訳である。

ここに一枚の写真がある。オール東北水産業が、今度は積極的に北欧流漁業水産業を学ぶというのはどうだろうか?

漁師は男性限定という思い込みを捨てる?

ここに一枚の写真がある。オール東北水産業が、今度は積極的に北欧流漁業水産業を学ぶというのはどうだろうか?

ここに一枚の写真がある。大きなノルウェーサーモンを両手で持つてにつこりと微笑む若い女性である。彼女は、ノルウェー人女性のインゲボルグ・アウカンさん、二十七歳。

写真の場所は、ノルウェー西部のフィヨルド地帯、エンデレセ湾に位置するサーモンの養殖場である。

そして世界第二の規模を誇るノルウェーサーモンの養殖業者レロイ社が所有する養殖場の船上であり、品質管理責任者であるインゲボルグさんが男性職員の中

に違和感なく馴染んでいる。「男女平等先進国」「お母さんにやさしい国」など、数々の国際的な世界ランキングの常連国として知られるノルウェーは、実は世界第二位の「水産物輸出大国」でもある。

日本の食卓でもノルウェーサーモンやサバが毎日消費されている。

ソルベルグさんが勤務を始めた一九八五〇九年は、女性は彼女を含め二名しかいなかった。

しかし今では、全社員の30%、養殖場など海上現場を除いた社内職員の50%、管理職トップ七人中三人は女性だという。

これを日本の漁業関係者に話して感想を聞くといふて、皆さんは受け入れられました。性が船の上で働く姿について、皆さんは受け入れられました。



ノルウェーでは女性漁師もいる・・・マイナビウーマンより

■世界の水産物の漁獲量・生産量の上位国

順位	国名	数量(トン)	前年比
1	中国	85,948,134	102%
2	インドネシア	21,813,413	100%
3	インド	14,433,205	109%
4	ベトナム	8,289,524	101%
5	ペルー	6,726,989	116%
6	ロシア	5,487,045	102%
7	アメリカ	4,731,048	100%
8	バングラデシュ	4,621,228	103%
9	ノルウェー	4,220,624	103%
10	フィリピン	4,114,594	97%
11	日本	4,114,570	97%

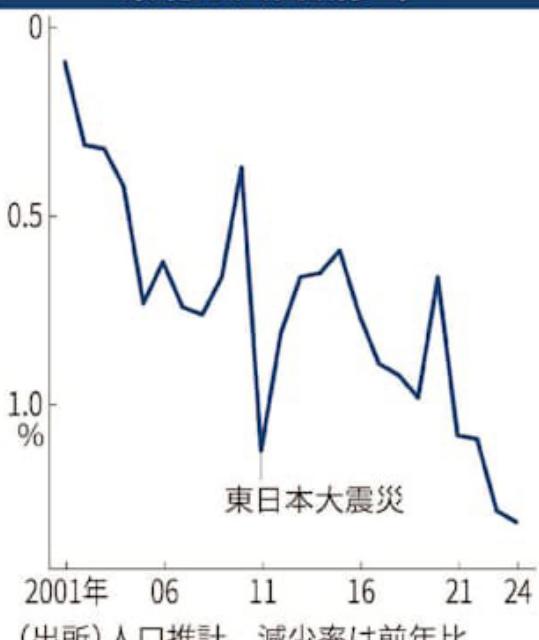
(出所) 国連食糧農業機関(FAO)のデータを基に編集

TOYKEIZAI ONLINE

いつまでも日本が世界の漁業大国だと
思い込んでいる人の幻想を打ち碎く
・・・東洋経済オンラインから

東北の人口減少に歯止めかからずワースト5に4県 オール東北で一丸となって対策は打たないのか?

東北の人口減少率



地方の人口減少率が拡大

順位	都道府県	2024年の人口増減率	23年	
			0.66%	0.34%
1	東京	0.01	▲0.08	
2	埼玉	▲0.05	▲0.04	
3	神奈川	▲0.07	▲0.22	
4	大阪	▲0.08	▲0.15	
43	山形	▲1.49	▲1.42	
44	高知	▲1.56	▲1.37	
45	岩手	▲1.57	▲1.47	
46	青森	▲1.66	▲1.66	
47	秋田	▲1.87	▲1.75	

(注) 総務省資料に基づく、▲は減少

東北の人口減少推移
・・・日本経済新聞より

人口減少県のワースト5に4県
・・・日本経済新聞より

大谷選手の日々の活躍に接してようやく「日常」が戻った！

トラブル続きの昨年とは一変して、無事スタートできたことに感謝

大谷選手の活躍をTVで見られなかつた約半年間はほんとに長かつた。その季節は、まるで家の周囲を完全に雪に閉じ込められた生活のようだつた。

日常のルーティンの重要な部分がすっぽり抜け落ちて、熱中できる楽しみもなく、張り合いもなく、ワクワクするような躍動感もなく、じつと耐え忍ぶような生活だつた。

それがやつと終わつたのだ。大谷選手の活躍とともに歩む生活のスタートだ。開幕してからまだひと月あまりしか経つていないが、昨年のような「悲劇」も、昨年の肩のケガの影響もなく、いまのところ今年も大きなケガもなく、無事にスタートできたのはほんとうによかつた。

MLB開幕戦は、アメリカにホーメランを打つというのではなく、日本でいきなりホームランを打つものではない。

にすごいメンバー揃い。

試合結果は、大谷選手は二本のヒット。勝利に貢献。

順調なすべり出し。

翌日の第二戦も東京ドーム。この日は、大谷選手の初ホームランの日。筆者も大興奮！

ほんとにすごい選手としにホームに戻つての開催。

開幕三戦目は、アメリカにホーメランを打つ

う何も言うことなし。

東京ドームのホームランはファンがホームランにしたものだと難癖をつけたア

ンチ大谷選手もいたが、そ

の難癖を吹き飛ばすように、

二試合連続ホームラン。も

う何も言うことなし。

早く投球を見たいが、こ

こはチームの方針に従おう。

五月かなあ？とにかく樂

しみでしかない。待ちきれ

ない。

チームのマネジメントにより、順調に準備が進められていくようだ。

早く投球を見たいが、こ

こはチームの方針に従おう。

丘の森の「大学城」散歩 奥州より望む知の独立の事



『いとみち』(越谷オサム著・二〇一一年)という小説がある。青森県北津軽郡の板柳町出身、祖母譲りの見事な津軽三味線の腕前と強烈な津軽訛りを持つ少女・いとが青森市内のメイド喫茶でアルバイトを始め、というインパクトある話で、数年前には実際に青森県出身の女優をいと役に据えて映画化されている。

私はその三巻目を、仙台の奥地に広がる東北大學工学部構内を散歩中、よく立見つけた。何故、大学内に書店にこのような小説本が置いてあつたか? 実は、主人公・いとは青森市含む県

の再興と発展を夢見、そのための方法を探る為に東北大學工学部を受験、見事合格を果たすのである——本稿では、我が仙台における「原付」オートバイでの散歩コース・東北大學を巡っての想い、そのあれこれを綴つていきたく思う。

※
私の大学構内散歩とは、東京在住時代からの趣味のようなもので、これは所謂大正浪漫というのか、古風に古の建築物を高じて特好んだ事による。

当初、自身が上京したての九〇年代はより小規模で庶民的な東洋大学や明治大學をよく歩いたが、これらはやがて古い建物をことごとく撤廃して高層ビルに建て直してしまった。私立大學で古い建物を維持するのは早稲田・慶應など一部の難関校や立教・明治学院などミッション系の学校に限られる印象だが、東京大学や一橋大学といった特に上位国立大学のそしした建造物の残存率は圧倒的であり札幌に一時期在住した時期以来は北海道大学の建造物群と自然景観の調和が素晴らしい、絶好の散策コースになつたものである。

しかし、仙台に来てから事情が多少変わつた。無論、当地でも東北大學の都

する事はできるが、むしろ私は何故か旧城下西部の丘陵地・青葉山にその大半を移管されたという東北大學の校舎群に興味を引かれたのである。嘗て仙台城が築かれた地として知られる青葉山、その最奥部の森林を搔き分けて広がるのは、最早大正浪漫とはかけ離れた

まだ真新しい理工学系学部の近未来的な建築群で、その特徴は同じ国立大学の理工系である東工大(東京工業大学、現・東京科学大学)などにも共通である。

東工大といえば先日、札幌にいた甥が当大学の「工学院」(他大学で言うところの工学部)に合格し、東京で独り暮らしを始めたよ

うである。工学系では決して引けを取らないであろう元民としては少しばかり寂しさを覚えたのも確かであるが、甥が大学名というブランドではなく、純粹に学問・研究を目的として大学を選択したという事がよく理解でき(東工大はその圧倒的実力に比して一般の知名度が決して高いとは言えない)、叔父として誇らしくも感じたのである。

ところで、こうした東北大學に纏わる近年の話題として個人的に驚き、興奮されられたのが、つい昨年の「東大、京大を差し置いて、初の『国際卓越研究大学』に認定された」という出来事である。その名通り、国際的に卓越した

政策に大学が組み込まれる事であり、大学が普遍的な知的活動拠点から国際成長の為の道具へと転換させられる事を意味する——と氏は主張するのだ。

国際卓越研究大学関連の資料には学部教育や文系学部への言及がほとんど無く、あたかも経済成長の役に立たぬ學問は支援の外とでも言ふようであり、「選ばれた大学は大学院に特化し、東北大學が掲げる目標數値

『いとみち』の主人公、いとが東北大學に入学したのは、かの震災復興の中、二〇一四年頃の設定だった。そう考えれば、彼女はどつぶくに工学部を卒業し、これからどこへ向かうのだろうか――

※

『いとみち』の主人公、いとが東北大學に入学したのは、伊達政宗の築いた城の背後に続く知の砦として、これからどこへ向かうのだろうか――

『いとみち』の主人公、いとが東北大學に入学したのは、伊達政宗の築いた城の背後に続く知の砦として、これからどこへ向かうのだろうか――

※

理解でき(東工大はその圧倒的実力に比して一般の知名度が決して高いとは言えない)、叔父として誇らしくも感じたのである。

それはさておき、その東京をどうの昔に後にして私にどうては、地域の大学こそが関心事である——とは言

うで、またやはり一般参加可能な公開討論会『哲学カフェ』(前世紀パリで始まり、国内では大阪大学が開催後、全国に波及した)やサイエンスカフェ(ほかの工学系である東工大(東京工業大学、現・東京科学大学)などにも共通である。

各公開講座が学内外で繰り広げられるなど随分と積極的に知的エンターテインメントを生み出す土壤となりつつある印象を抱かせる。

ただ、東北大學は現在本部研究棟区域及び医学関連学部以外は完全に青葉山に移転し、かつての膝元——即ち学生街を失つた状態でもある。一体何故、東北大學は敢えて街を捨て、隔絶された丘陵地の森の中へと移つたのか——その経緯も追つてみたい。

計画的な札幌都市建設と共に広大な敷地にほぼ全学部を揃えて設立された北大と違い、東北大は元々三百四方の城下町の一角を割き、その歴史がある僅か四キロ

の現在の立地は研究機関としての理想的景観に見えて実は相当地域に特殊な環境にも

共に広大な敷地にほぼ全学部を揃えて設立された北大と違い、東北大は元々三百四方の城下町の一角を割き、その歴史がある僅か四キロの現在の立地は研究機関としての理想的景観に見えて実は相当地域に特殊な環境にも

よく知られるように東北大學は東京大学、京都大学に次ぐ全国三番目のかつての帝国大学として明治期に設立されたが、実際の大学設置は政府の財政難の為に容易に進まず、まず先に当時の札幌農学校と新設予定の理科大学と併せて北海道戦後変化が起きる。

しかし事実、東北大學の実績と評価は誠に大したもので、工学系のノーベル賞受賞者の存在は周知の事、文系・理系問わず優れた研

究によって多くの文化勳章による科学技術振興方策発表を受け、理工学系の拡充

された幾つかの世界大学ラ

発端は一九五七年文部省

学士院賞受賞者を輩出して

きた東北大學は英國で発表

される評価を得、その日本版や國

内での総合評価もここ数年

え、唯の瘋癲なるこの身の

ンパスや近隣のミッション

エで通常の書店とは一風変

わった選書の本棚を物色し

ては珈琲を飲み、「自動車

の過去・未来館」で古の名

車・T型及びA型フォード

車に興味を引かれた

のである。嘗て仙台城が築

ては、伊達政宗の築いた城の

背後に続く知の砦として、

これからどこへ向かうの

だ――

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※



キツネの関所



ニホンカモシカ親子



紅梅の蕾



ヤマシャクヤクの芽



今年は見に行けるかなあ～

シリーズ 遠野の自然
「遠野の清明」
遠野1000景より

トランプ大統領が発した
ほぼあらゆる国に対する関
税引上げ発表とその導入か
ら、世界経済が大混乱を起
こしている。

世界中の多くの人を一方
的に困らせる政策はいづれ
大きなし。ペ返しに遭遇す
ることだろう。

しかし、残念だが、いま
は『氣まぐれ』をだれも制
止できないから、黙つて成
り行きを見守るしかない。

こうした一方で、いま遠
野は厳しかった冬を耐えて、
春を迎えて。それに連
れて、花々も咲き、動物も
動き始めた。順調な運行だ。

こうした世界を見るにつ
け、人間の成することは時に
大きく違うものだと静か
な怒りとともに実感する。



モクレンの蕾



人面石



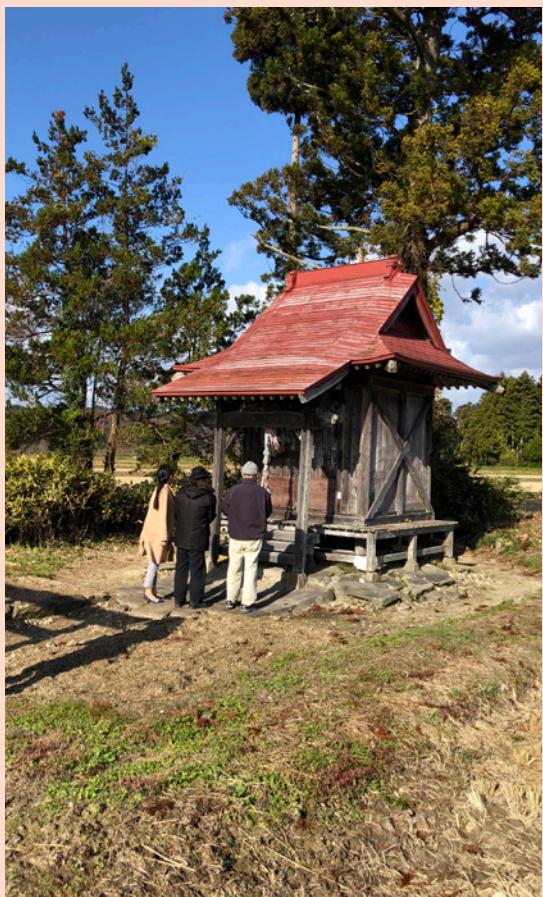
次郎石

新シリーズ【東北を再発見する旅】…⑯ 「アラハバキ神社」その②

宮城県北部のアラハバキ神社、祀られているのは鉄の神か?



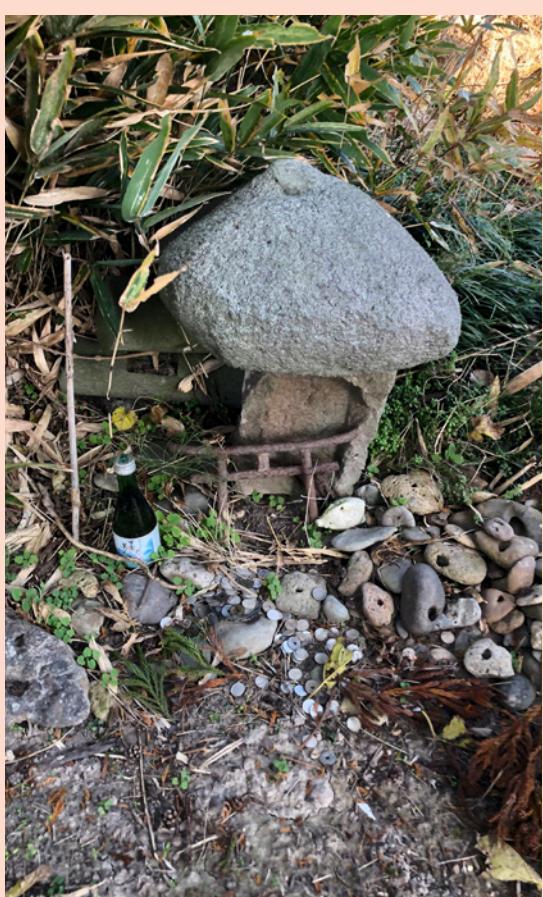
アラハバキ神社説明板



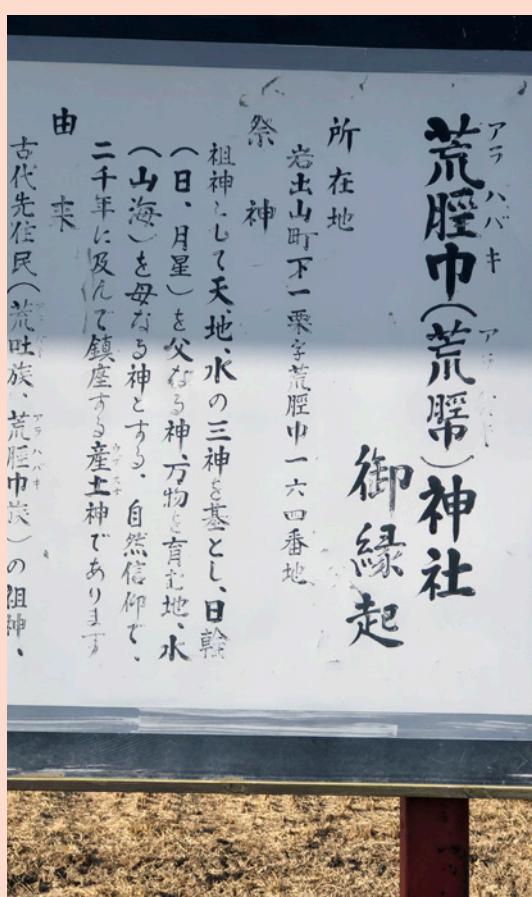
アラハバキ神社



水いぼの神?



神社裏には穴の開いた石が供えてあった



説明板拡大図

筆者が知つていて、訪ねたことがあるもう一つのアラハバキ神社は宮城県北部の岩出山地区にあつた。

映像作家としての筆者の第二作目の作品の撮影でたまたま、地元出演者の案内

でそこを訪問したのだった。前回取り上げた宮城県多賀城にあるアラハバキ神社を探したいと思っていたので、内心では小躍りしたい気分だつた。

ただ、入口にある表示棒を見たら、なんと「みずいぼなおす荒脛巾さま」と書いてあり非常にがっかりした。

近くにあつた、もっと詳しい説明板(荒脛巾神社縁起)を見たら、さつきの落胆を一挙に打ち消すようなものすごい記述

賀城にあるアラハバキ神社を探したいと思っていたので、内心では小躍りしたい気分だつた。

祭神・・・「祖神として天、地、水の三神を基とし、日輪(日・月星)を父なる神、万物を育む地、水(山海)を母なる神とする、自然信仰で、二千年に及んで鎮座する産土(ウブスナ)神であります」とある。これに

があつた。
* が、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざまな言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。

すなわち、これらの説が正しいとすると、アラバキ族の歴史は二千年以上あり、この近辺に暮らしていたと

いうことになる。

まさに歴史的ロマンを掻き立てられる話である。

た石がたくさん供えてあつた。

北や関東にはアラハバキ神社が六百以上あつて、アラハバキ神が広く信仰されてゐたということではないだ

ろうか?
* 祭祀年:「定かではないが、アラバキ族の王城の地を西暦前に米山町朝来(アサゴ)、また西暦後多賀城へ、そして古川市宮沢(三〇一年)に移したとある。これを証とすればこの何れかの時代に、この地に一族集団が、安住を求め守り立てる話である。

さらに、神社の本殿の後ろ側にある小さな祠(ほこら)には、まず、鉄製の小さな鳥居があり、穴が開い

筆者の頭のなかをさまざま

な言葉とその言葉が想起されるイメージが駆け巡つた。

アラハバキ神社、この神は二千年に及んで鎮座する産土神信仰の社であり、また自然信仰の社。

た。前述の映像出演者の話によれば、これらの石は鉄を象徴しており、このアラハバキ神社は鉄を祀つた神社だというのだ。

護神として祀つたものと推定される」とある。

もうここまで来るとただ事ではない。</



写真で
お伝えする
東北の風景
**「岩手の
シダレザクラ」**

写真撮影
尾崎匠

